

幻想のインド・ネパール音楽

ネパールからプロのシタール演奏家、サワン氏が来釧
華麗で幻想的なインド・ネパール音楽を披露します



シタール：SAWAN JOSHI

タブラ：二橋 潤一

サロッド：三船 淳

タンプーラ：二橋 友江

日時：2026年7月5日(日)

開場：13：30 開演：14：00

会場：釧路芸術館アートホール

チケット：2000円(学生：1500円)

主催：アトリエ・ノール

後援：釧路市教育委員会、釧路音楽協会、北海道新聞釧路支社、釧路新聞社、
FMくしろ、アール・クシリアン

チケット取り扱い：釧路市生涯学習センター、コーチャンフォー釧路

ご予約、連絡先：09064479119 (二橋)



プロフィール：

サワン・ジョシ SAWAN JOSHI (シタール奏者)

ネパール、カトマンズに生まれる。14歳よりシタールを学び、インド・ネパール古典音楽を習得。1998年、ネパール全国古典楽器コンクールにて第1位。2000年来日。シタール奏者としてFuji Rock Festival, Ho-Hi-Yan 国際音楽祭(台湾)、UNESCO本部(パリ)など国内外に出演。2004年、東京藝術大学大学院音楽学に入学し、2010年に博士号取得。2013年より東京芸術大学楽理科非常勤講師としてシタール奏法の指導に携わっている。これまでに、2003年に

『Swatantra』、2014年に『Hot Spice』のソロアルバムを発表。一方、NHKラジオ回、NHK「BS1」テレビの番組エルムンドなどにも出演。

現在、日本とネパールを拠点に、講師としてシタール奏法の指導をする傍ら、インド・ネパール古典音楽を中心に様々なジャンルと融合した演奏活動を行っている。また、日本の大学や公的機関での講演やコンサートを通じて、日本とネパールの文化交流架け橋としても活動している。

当日演奏する楽器の紹介

シタール＝北インド音楽の代表的な弦楽器、演奏には高度のテクニックを必要とする

タブラ＝北インド音楽の代表的な太鼓、二つの太鼓のセットで撥は使わず、掌、指で複雑なリズムを表現する

サロッド＝北インド音楽で使用される弦楽器

タンプーラ＝弦楽器、開放弦を鳴らして雰囲気醸し出す